

**取組 4 7 文化財の保護と活用**

○ 現状

史跡・名勝・天然記念物・重要文化財等の文化財は、地域の貴重な宝であり、本県の歴史や文化の正しい理解のためにはなくてはならないものです。これらの貴重な文化財を大切に守り、次世代へ継承していくことは非常に重要なことです。

文化財は地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産であり、その地域の歴史・文化環境を形作る重要な要素であるので、各地域で指定・保存・活用を図ります。

○ 課題

- ・文化財の指定等を促進し、毀損・老朽化した文化財を保護・整備すること
- ・出土品や遺跡等の文化財の活用を促進し、県民に群馬の歴史や文化のすばらしさを伝えること

○ 取組の方向

- ・国及び県指定文化財への新規指定及び計画的な保存整備等を行います。
- ・出土品や遺跡等の文化財を保存・活用するとともに、発掘調査の成果を県民に公開します。

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種文化財指定等の促進 我が国及び本県の歴史や文化の正しい理解のために必要な文化財の指定等を、関係市町村と協議しつつ促進します。</li> </ul>	文化財保護課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種文化財保存・活用・公開の促進 市町村等と連携して、文化財の保存・活用を図ります。また、遺跡の整備や、県埋蔵文化財調査センター発掘情報館の運営を通して、県民に文化財を公開します。</li> </ul>	文化財保護課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財情報システムの整備 県民に最新の文化財や遺跡の情報を提供することにより、文化財の保護と開発の調和を図ります。</li> </ul>	文化財保護課

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H 2 0)	目標年度の状況 (H 2 5)
・国及び県指定等文化財の数	828 点	870 点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」 児童生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査（文部科学省）</li> </ul>	(小 6) 50.4 % (中 3) 24.5 %	(小 6) 60 % (中 3) 40 %
・県埋蔵文化財調査センター発掘情報館の入館者数	(H 1 9) 14,367 人	16,000 人

・ 県埋蔵文化財調査センター発掘情報館

県埋蔵文化財調査事業団では、県埋蔵文化財調査センター発掘情報館を運営しています。発掘成果をもとに、いろいろなテーマの展示を行い、土器づくりや火起こしなどの体験学習を実施し、群馬の歴史を紹介しています。

土器づくり



火起こし体験



古代の布作り体験

・ 群馬県の遺跡、出土品の紹介

県内には約13,000か所を超す遺跡があり、貴重な出土品が数多く発掘されています。

○上野国分寺跡（高崎市東国分町）

天平13（741）年、聖武天皇の命により国ごとに国分寺が建立されました。当時は金堂を中心にし、東西約220メートル、南北約235メートルの広さを持ち、塔・講堂・僧房からなる大寺院でした。



復元された塔の基壇

○観音山古墳（高崎市綿貫町）

6世紀に作られた全長97メートルの前方後円墳で、後円部に12mほどの横穴式石室を持ちます。古墳からは、武人、馬などをかたどった埴輪や装身具、武具など貴重な資料が出土しました。



「貴人」埴輪

空から見た観音山古墳



○県内で発掘された出土品



神保下條2号墳の埴輪 人物と馬



「の」字形石製品  
（白石大御堂遺跡  
縄文時代中期）



（勝坂式土器  
房谷戸遺跡  
縄文時代中期）